

高取小だより

令和7年12月12日



三本桜

第33号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
12月の目標：交通ルールを守って生活しよう

年の瀬が近づいてきました

師走（12月）も中旬となり、年の瀬が近づいてきました。「師走」には「師（僧）が（お経をあげるために家々を）走り回る月」という意味があるそうです。また、「年の瀬」の「瀬」には「流れが急で速い川」という意味があり、年末の慌ただしい様子を表しているそうです。お坊さんに限らず、走り回るような忙しい時期となりますが、子どもたちには日々の学習にしっかりと取り組ませ、冬休みを迎えさせたいと思います。寒さも厳しくなってきました。保護者の皆様も体調を崩すことのないよう気を付けてお過ごしください。

学習発表会（2年生）

10日（水）、2年生が生活科「たかはま すてき 大はっけん」の学習発表会を行いました。市内の事業所（パピヨン、がるてん、田村石材、チョコチョコキ、パナステーションサノ、ホンダドリーム高浜、JA産直センター、高浜安立、松鶴園、アンジェリーク、マザーBOX；順不同、敬称略）を訪問し、学んだことを1年生、保護者の皆様に報告しました。参観くださいました保護者の皆様、ありがとうございました。



サンタクロースは本当にいるの？

子どもたちから質問を受けると、私は迷わず「サンタクロースはいるよ」と答えています。

今から 100 年以上も前の話です。アメリカのニューヨーク・サンという新聞社に、バージニア・オハロン（8 歳の少女）から手紙が届きました。「・・・私の友達の中に、『サンタクロースなんていない』という子がいます。・・・サンタさんって、本当にいるのですか」と。しばらくして、この手紙への返事が、新聞の「社説」に掲載されました。そこには次のように書かれていました。

バージニア、それは友達の方がまちがっているよ。きっと、何でも歌いたがる年ごろで、見たことがないなんて。自分のわかることだけが、全部だと思ってるんだろう。でもね、バージニア、大人でも子どもでも、何もかもわかるわけじゃない。この広い宇宙では、人間って小さな小さなものなんだ。ぼくたちには、この世界のほんの少しのことしかわからないし、本当のことを全部わかろうとするには、まだまだなんだ。

じつはね、バージニア、サンタクロースはいるんだ。愛とか思いやりとかいたわりとかがちゃんとあるように、サンタクロースもちゃんといるし、そういうものがあふれているおかげで、人の毎日は、いやされたりうるおったりする。もしサンタクロースがいなかったら、ものすごくさみしい世の中になってしまう。バージニアみたいな子がこの世にいなくなるくらい、ものすごくさみしいことなんだ。サンタクロースがいなくてことは、子どもの素直な心も、つくりごとを楽しむ心も、人を好きって思う心も、みんなないってことになる。見たり聞いたりさわったりすることでしか楽しめなくなるし、世界をいつもあたたかくしてくれる子どもたちの輝きも、きえてなくなってしまうだろう。

サンタクロースがいらないだなんていうのなら、妖精もいないっていうんだろうね。だったら、パパにたのんで、クリスマスイブの日、煙突という煙突を全部を見はらせて、サンタクロースをまちがせしてごらん。サンタクロースが入ってくるのが見られずに終わっても、なんにもかわらない。そもそもサンタクロースは人の目に見えないものだし、それでサンタクロースがいなくてことにもならない。本当の本当っていうのは、子どもにも大人にも、だれの目にも見えないものなんだよ。妖精が原っぱで遊んでいるところ、だれか見た人っているかな？ うん、いないよね、でもそれで、いないって決まるわけじゃない。世界でだれも見ることがない、見ることでできないふしぎなことって、だれにもはっきりとはつかめないんだ。

あのガラガラっておもちゃ、中をあければ、玉が音をならしてるってことがわかるよね。でも、目に見えない世界には、どんなに力があっても、どれだけ束になってかかっても、こじあけることのできないカーテンみたいなものがかかっているんだ。素直な心とか、あれこれたくましくすること・したもの、それから、よりそう気もちや、だれかを好きになる心だけが、そのカーテンをあけることができ、その向こうのすごくきれいですてきなものを、見たりえがいたりすることができる。うそじゃないかって？ バージニア、いつでもどこでも、これだけは本当のことなんだよ。

サンタクロースはいない？ いいや、今このときも、これからもずっといる。バージニア、何千年、いやあと十万年たっても、サンタクロースはいつまでも、子どもたちの心を、わくわくさせてくれると思うよ。

この社説は大きな反響を呼び、新聞社が発行を停止するまでの 50 年間、毎年掲載され、「アメリカで最も有名な社説の一つ」と言われているそうです。

高取っ子にも、サンタクロースが来てくれますように・・・。

